

# 柳川市観光客動態調査 報告書

平成 26 年 8 月

柳川市観光課

# 目 次

## 第1編 調査の概要

1. 調査の目的	2
2. 調査方法	2
3. 調査実施日	2
4. 調査項目	2
5. 調査担当	2
6. 実査の状況	2
7. 用語の定義	3

## 第2編 調査結果の概要

1. 観光の現況と特徴	4
-------------	---

## 第3編 調査結果の分析

1. 回答者の属性	9
2. 居住地と旅行形態	11
3. 同行人数	17
4. 旅行形態	18
5. 訪問回数	19
6. 訪問理由	20
7. 観光消費額	22
8. 満足度	23
9. 改善要望事項	26

調査票

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、観光の動向の変化を把握するために前々回（平成 20 年）及び前回の調査（平成 23 年）と比較し、今後の観光施策の推進に資する資料を作成することを目的に実施した。

## 2. 調査方法

市内の主要観光地点 3 ヶ所を選定し、各々の調査地点で調査員が直接観光客にアンケート調査票による聞き取りを行い、調査票（29 頁参照）に書き込む方法をとった。

## 3. 調査実施日

	10 月	3 月	5 月	7 月
日（曜日）	6 日(日)、12 日(土)、 14 日(月)	15 日(土)、16 日(日)、 21 日(金)	17 日(土)、24 日(土)、 31 日(土)	19 日(土)、20 日(日)

## 4. 調査項目

- ①観光客の属性
- ②居住地
- ③来訪回数
- ④来訪の目的
- ⑤観光消費額
- ⑥満足度
- ⑦要望事項

## 5. 調査担当

九州産業大学

## 6. 実査の状況

### （1）調査地点

- ①西鉄柳川駅
- ②御花周辺
- ③観光案内所周辺

### （2）標本数

調査日 調査地点	10 月	3 月	5 月	7 月	合計	%
西鉄柳川駅前	22	-	-	-	22	3.7
御花周辺	71	91	82	73	317	52.7
観光情報センター周辺	61	55	75	71	262	43.6
回答総数	154	146	157	144	601	
%	25.6	24.3	26.1	24.0	100.0	100.0

\* 西鉄柳川駅の駅舎の建て替え、リニューアルのため、駅周辺での調査ができなかった。

## 7. 用語の定義

### (1) 観光客の定義

観光目的の来訪客を狭義の観光客、親戚訪問、買物目的を含めたものを広義の観光客とし、ここでの観光客は広義の観光客を指す。

### (2) その他

- ① nは、比率算出の基数である。
- ②複数回答可の質問では、回答件数の合計が100%を超えることがある。
- ③回答はすべて百分比(%)で表し、小数点第2位を四捨五入している。そのために百分比の合計が100.0にならない場合がある。
- ④「九州」には沖縄が含まれている。

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1. 観光の現況と特徴

#### ● 観光客の性別・年代別

**男性が47.5%、女性が52.5%。年代別では「60代」が最も多い。**

観光客の性別構成は、「男性」が47.5%、「女性」が52.5%を占め、年代別では「60代」と「40代」がそれぞれ22.5%と17.7%と全体の中で高い割合を占めている。

性別・年齢別構成比

(%)

	性別		年齢別							
	男性	女性	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
全体	47.5	52.5	4.3	15.5	15.3	17.7	16.3	22.5	7.3	1.0

#### ● 居住地

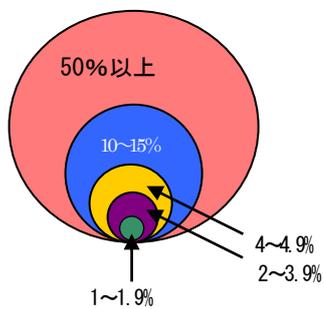
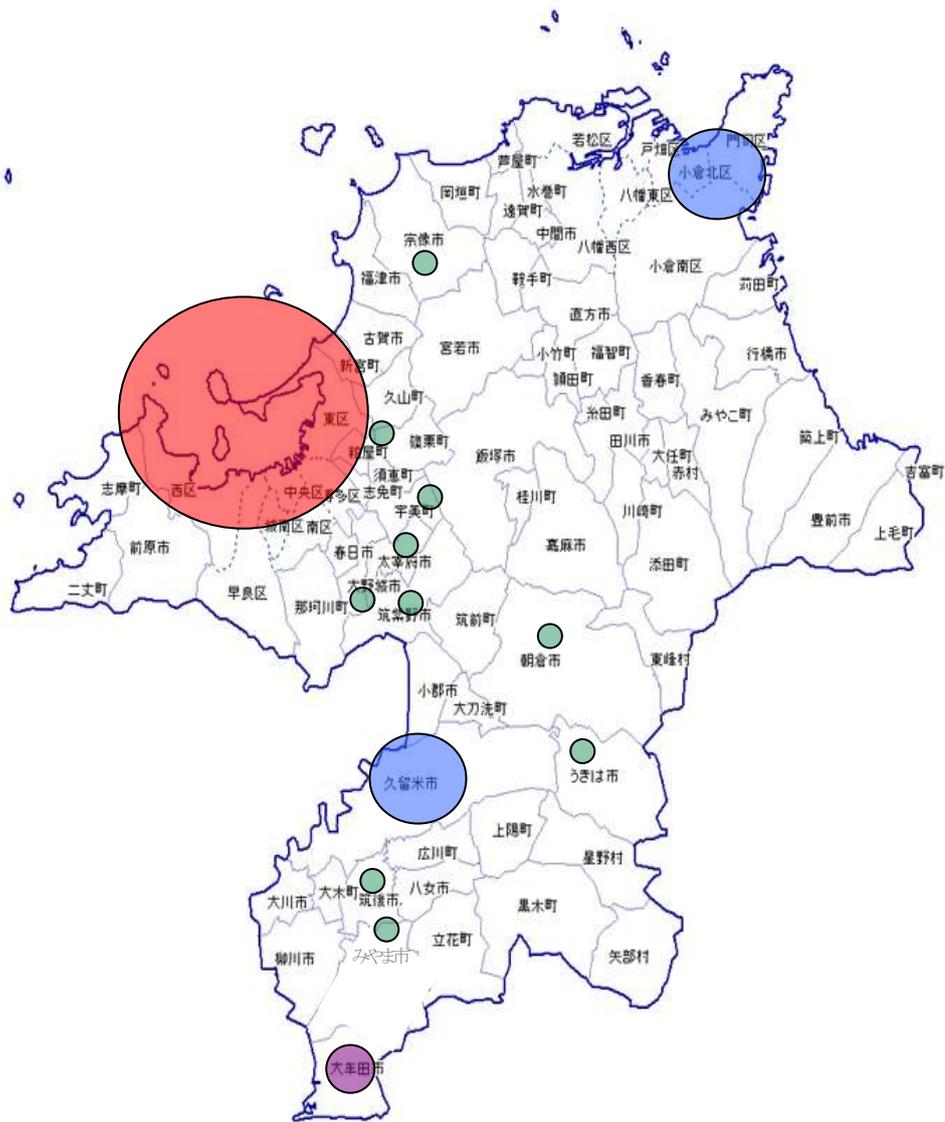
- ✦ 「九州外」が高い割合（前々回 27.9%→前回 32.6%⇒今回 32.6%）  
「福岡市内」24.5%、  
「福岡県（福岡市を除く）」22.0%  
「九州内（福岡県を除く）」19.2%
- ✦ 「九州外」では「中部地方」27.8%、「近畿地方」22.1%、「関東地方」18.6%
- ✦ 「九州内」では「福岡県」46.5%、「熊本県」32.5%、「長崎県」24.6%、「佐賀県」14.9%
- ✦ 「福岡県内」では「福岡地方」34.0%（内「福岡市」24.5%）、「筑後地方」23.5%

「九州外」が最も多い32.6%、次いで「福岡市内」が24.5%、「福岡県内（福岡市を除く）」が22.0%、「九州内（福岡県を除く）」が19.2%、を占めている。

「九州外」では「中部地方」（27.8%）が、「九州内」では「熊本県」（32.5%）が、「福岡県内（福岡市を除く）」では「筑後地方」（23.5%）がそれぞれのカテゴリーで最も多い。

観光客が全体の2%を超えているところを県別でみると、「福岡県（福岡市を含む）」が46.5%、「熊本県」6.2%、「長崎県」4.7%、「東京都」3.5%、「大阪府」3.5%、「三重県」3.0%、「佐賀県」2.8%、「愛知県」2.7%、「鹿児島県」2.2%、「福島県」2.2%、「広島県」2.0%となっている。市町村では「福岡市」24.5%、「久留米市」5.2%、「北九州市」4.7%である。

「福岡県」を100とした場合の市町村では、「福岡市」が53.0%、「久留米市」が11.2%、「北九州市」が10.1%を占めている。



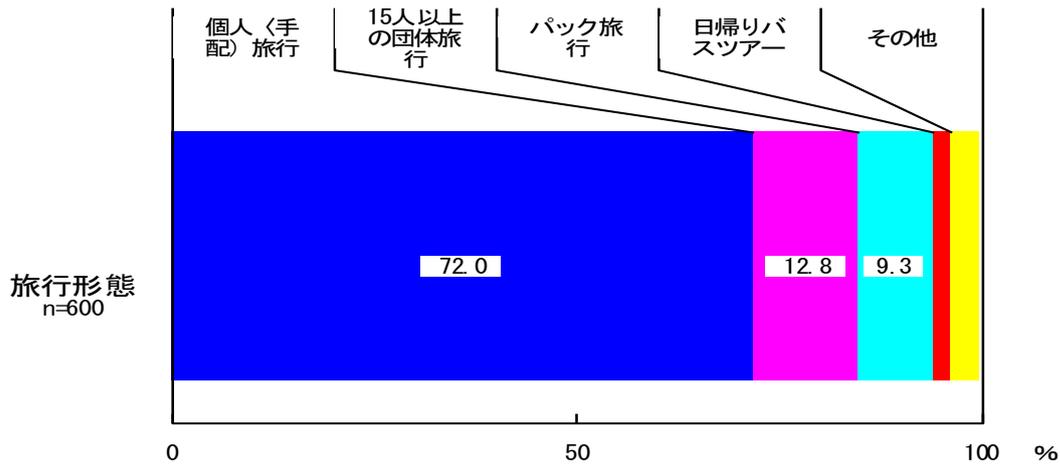
福岡県内の市町村別観光客訪問率(福岡県=100)

## ● 旅行形態

「15人以上の団体旅行」と「パック旅行」が大きく増加

✚ 「個人手配旅行」が72.0%、「15人以上の団体旅行」が12.8%、「パック旅行」が9.3%

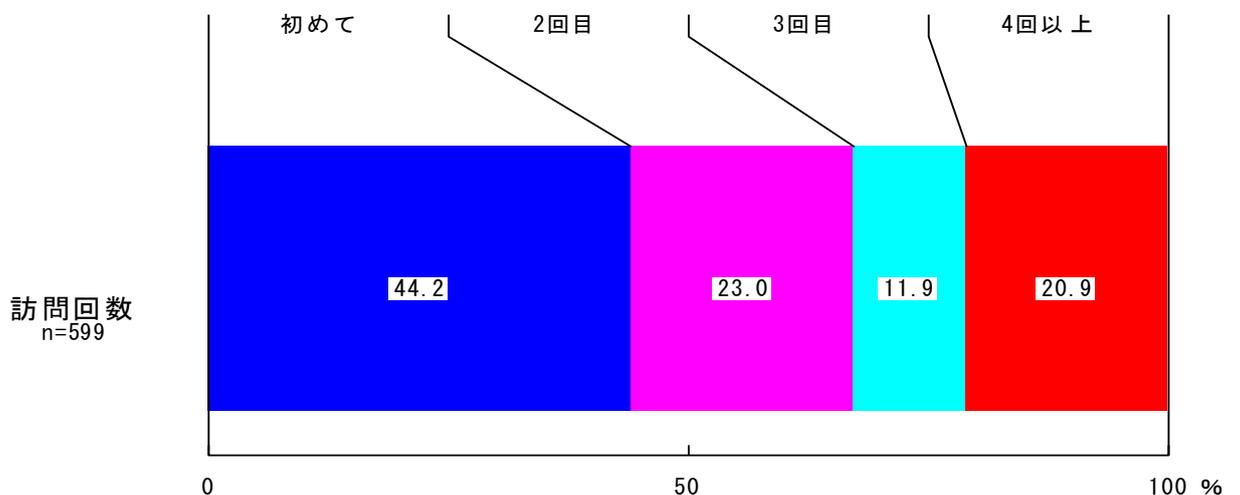
「個人手配旅行」が72.0%、「15人以上の団体旅行」が12.8%、「パッケージ旅行」が9.3%、「日帰りバスツアー」が5.9%と、「15人以上の団体旅行」と「パッケージツアー」の割合が22.1%を占めている。



「15人以上の団体旅行」または「パッケージ旅行」の利用率が高いところは、「中部地方」（愛知県、岐阜県）、「近畿地方」（大阪府）、「中国地方」（鳥取県、岡山県、広島県）が多くなっている。

## ● 訪問回数

✚ 「リピーター」が55.8%

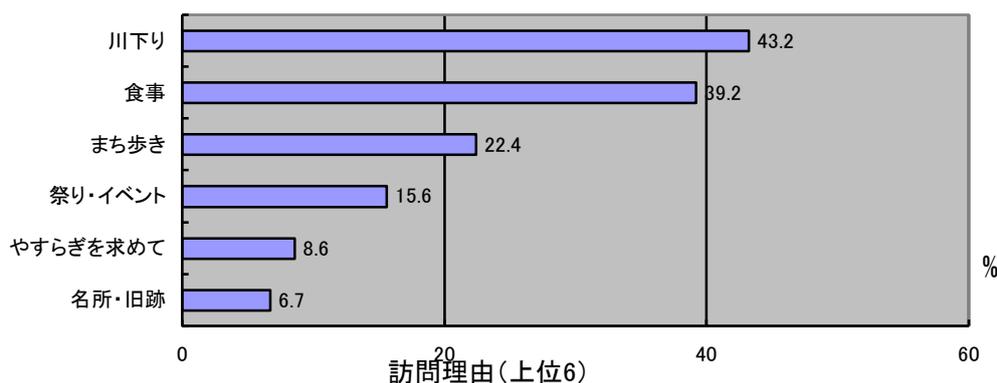


● 訪問理由（観光目的）

「まち歩き」が大きく増加（前回 12.1%⇒22.4%）

- ✚ 「川下り」(43.2%)
- ✚ 「食事」(39.2%)
- ✚ 「まち歩き」(22.4%)
- ✚ 「祭り・イベント」(15.6%)

最も大きい訪問理由は、「川下り」(43.2%)と「食事」(39.2%)であるが、「まち歩き」が22.4%と前回3番目の「祭り・イベント」を抜いて3番目の目的となった。



● 観光消費額

✚ 観光消費額は全体的に増加。利用率は減少

観光客の一人当たり平均消費額は「宿泊費」が11,996円、「飲食費」が2,614円、「おみやげ費」が3,183円、「交通費」が1,281円、「川下り費」が1,425円、「入場・観覧・利用料等」が594円である。

表 項目別1人当たりの平均消費額

	今回		前回		前々回	
	利用率	平均消費額(円)	利用率	平均消費額(円)	利用率	平均消費額(円)
宿泊費	6.9 ↗	13,385 ↗	4.8	11,996	4.6	11,540
飲食費	74.2 ↗	3,269 ↗	76.8	2,614	68.5	2,650
おみやげ費	46.0 ↗	3,606 ↗	35.6	3,183	36.9	2,650
交通費	14.5 ↗	1,665 ↗	22.8	1,281	18.1	1,340
川下り費	41.2 ↗	1,420 ↗	51.4	1,425	32.5	1,410
入場・観覧・利用料等	22.0 ↗	709 ↗	21.5	594	19.6	610

\* 矢印は前回との比

●満足度（“やや満足” + “満足”）（100点満点）

✚ 前回と比べて全ての項目において向上

前回と比べて特に改善が著しい項目は「みやげ品」で、23ポイントアップである。

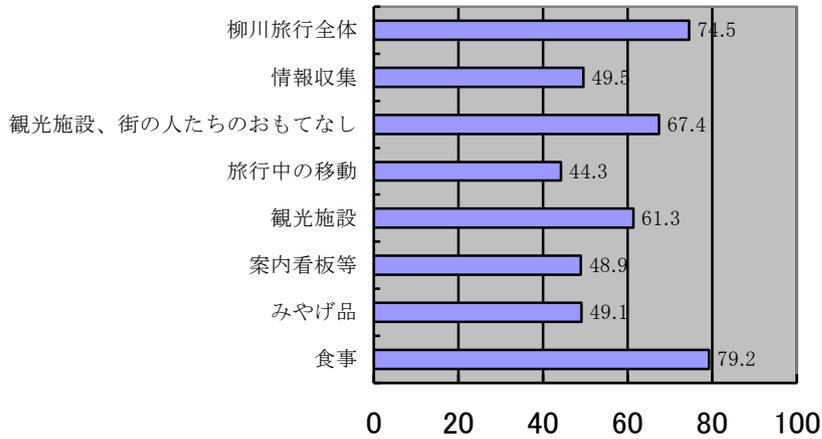


表 満足度の比較

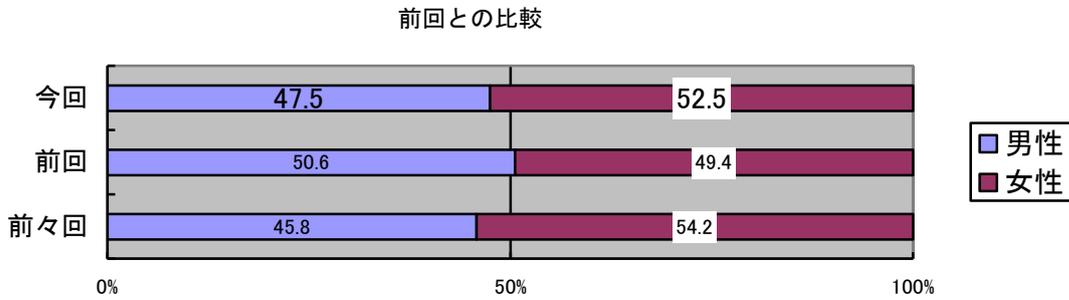
	今回	前回
食事	79.2	67.8
みやげ品	49.1	25.8
観光施設やその内容	61.3	51.6
当地までの案内看板などの整備状況	48.9	34.2
旅行中の移動	44.3	35.7
観光施設、街の人たちのおもてなし	67.4	58.8
当地での情報収集	49.5	34.7
旅行全体	74.5	67.5

### Ⅲ 調査結果の分析

#### 1. 回答者の属性

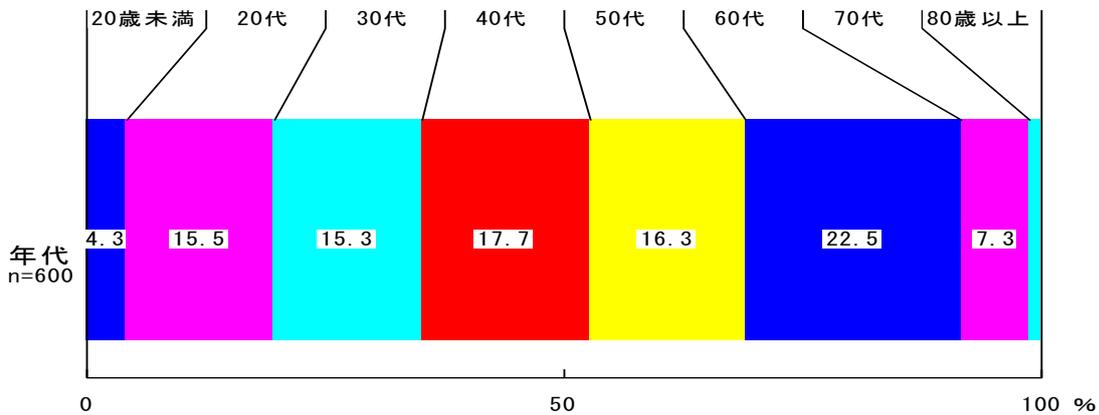
##### (1) 性別

回答者の性別をみると、「男性」が47.5%(前回50.6%)、「女性」が52.5%(前回49.4%)である。

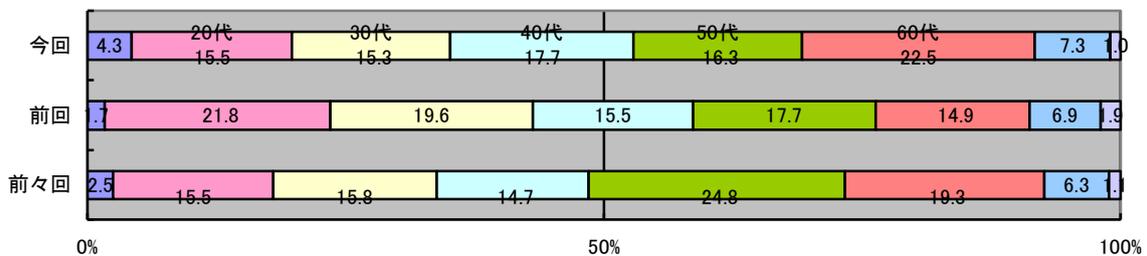


##### (2) 年齢別

年齢別では「60代」が22.5%と最も多く、次いで「40代」が17.7%、「50代」が16.3%、「20代」が15.5%、「30代」が15.3%となっており、60代が大きく伸びている。

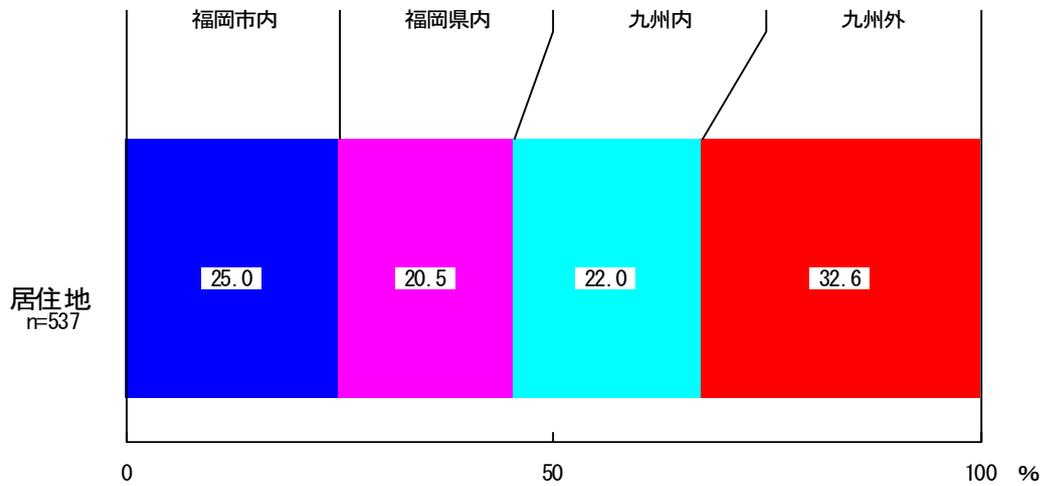


##### 前回との比較



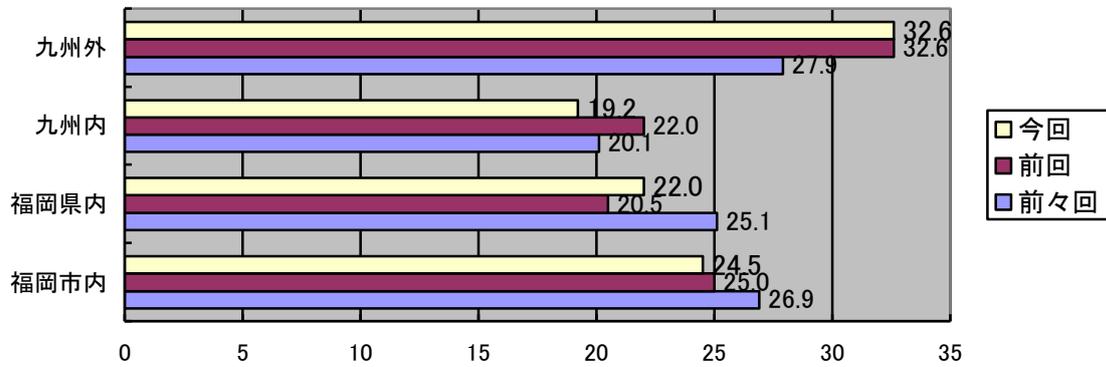
### (3) 居住地

「九州外」が32.6%と最も多い、次に「福岡市内」が25.0%、「九州内」が22.0%、「福岡県内」（福岡市以外）が20.5%である。



前回と比べて「福岡県内」が若干であるが伸びた。これまでアンケート調査でなかった外国人が増え、今回の調査で1.7%（韓国人9人、タイ人1人）を占めている。

居住地の割合(前回との比較)



## 2. 居住地と旅行形態

### (1) 福岡県内

✦ 「福岡地方」が64.6%、「筑後地域」が23.5%で全体の88.1%  
✦ 市町村では「福岡市」が53.1%、「久留米市」が11.2%、「北九州市」が10.1%

福岡県内では「福岡地方」が64.6%(うち、「福岡市」53.1%)と最も多く、次に「筑後地方」が23.5%、「北九州地方」が10.8%、「筑豊地域」が1.4%である。

前回と比較してみると、地域では「筑後地方」が、市町村では「北九州市」と「久留米市」が福岡県内比、全体比ともに増加した。

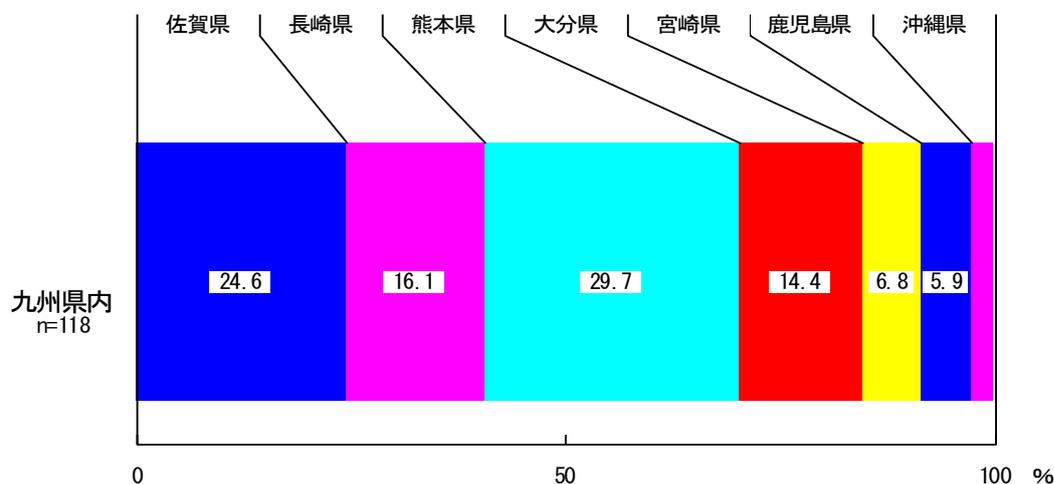
#### 居住地

地域区分	市町村	今回		前回		前々回	
		福岡県内比 (n=277)	全体比 (n=599)	福岡県内比 (n=244)	全体比 (n=537)	福岡県内比 (n=729)	全体比 (n=1,429)
福岡地方	福岡市	53.1	24.5	54.1	25.0	52.7	26.9
	春日市	0.7	0.3	2.0	0.9	2.6	1.3
	太宰府市	1.8	0.8	1.6	0.7	2.2	1.1
	筑紫野市	1.8	0.8	2.5	1.1	1.9	1.0
	大野城市	1.1	0.5	0.8	0.4	1.6	0.8
	宗像市	1.1	0.5	1.6	0.7	1.5	0.8
	古賀市	0.4	0.2	0.0	0.0	1.0	0.5
	福津市	0.7	0.3	0.8	0.4	0.0	0.0
	糸島市	0.0	0.0	1.2	0.6	1.1	0.5
	那珂川町	0.0	0.0	0.4	0.2	0.8	0.4
	新宮町	0.4	0.2	0.0	0.0	0.4	0.2
	粕屋町	1.4	0.7	0.0	0.0	0.4	0.2
	宇美町	1.1	0.5	0.0	0.0	0.3	0.1
	篠栗町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
	志免町	0.4	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1
	須恵町	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
小計		64.6	29.8	65.0	30.0	66.9	34.1
北九州地方	北九州市	10.1	4.7	7.8	3.5	6.2	3.1
	岡垣町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
	行橋市	0.4	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1
	豊前市	0.0	0.0	0.4	0.2	0.0	0.0
	中間市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
	上毛町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
	遠賀町	0.4	0.2	0.4	0.2	0.0	0.0
小計		10.8	5.0	9.0	4.1	6.9	3.5
筑豊地方	飯塚市	0.4	0.2	1.6	0.7	1.4	0.7
	直方市	0.7	0.3	0.8	0.4	0.5	0.3
	嘉麻市	0.0	0.0	0.4	0.2	0.5	0.3
	田川市	0.0	0.0	0.8	0.4	0.3	0.1
	小竹町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
	鞍手町	0.0	0.0	0.4	0.2	0.0	0.0
	桂川町	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
小計		1.4	0.7	4.0	1.9	2.9	1.5
筑後地方	久留米市	11.2	5.2	8.2	3.7	9.3	4.8
	大牟田市	3.6	1.7	5.3	2.4	4.5	2.3
	大川市	0.4	0.2	2.0	0.9	2.6	1.3
	筑後市	1.8	0.8	0.0	0.0	2.2	1.1
	みやま市	1.8	0.8	0.8	0.4	1.2	0.6
	八女市	0.7	0.3	2.9	1.3	1.0	0.5
	小郡市	0.7	0.3	1.2	0.6	0.8	0.4
	朝倉市	1.1	0.5	1.2	0.6	0.5	0.3
	大木町	0.4	0.2	0.0	0.0	0.4	0.2
	うきは市	1.4	0.7	0.0	0.0	0.3	0.1
	筑前町	0.4	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1
	大刀洗町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
	広川町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
	小計		23.5	10.9	20.8	9.9	23.3

(2) 九州・沖縄圏内

「熊本県」が32.5%、「長崎県」が24.6%で全体の57.1%

九州内（福岡県を除く）では「熊本県」が32.5%で最も多い。次いで「長崎県」24.6%、「佐賀県」14.9%、「鹿児島県」11.4%の順である。



前回と比べて、「熊本県」、「長崎県」、「鹿児島県」などが増え、特に「長崎県」と「鹿児島県」が大きく伸びている。特に「鹿児島県」は「15人以上の団体旅行」と「パッケージ旅行」が増えている。(14-15頁参照)

	今回		前回		前々回	
	九州・沖縄圏内比 (n=114)	全体比 (n=601)	九州・沖縄圏内比 (n=118)	全体比 (n=539)	九州・沖縄圏内比 (n=288)	全体比 (n=1429)
佐賀県	14.9	2.8	24.6	5.4	26.7	5.4
長崎県	24.6	4.7	16.1	3.5	13.5	2.7
熊本県	32.5	6.2	29.7	6.5	34.0	6.9
大分県	9.6	1.8	14.4	3.2	12.5	2.5
宮崎県	7.0	1.3	6.8	1.5	3.8	0.8
鹿児島県	11.4	1.3	5.9	1.3	5.6	1.1
沖縄県	0.0	0.0	2.5	0.6	3.8	0.8

九州各県の旅行形態

上段: 度数 下段: %	旅行形態					
	合計	個人(手配)旅行	15人以上の団体旅行	バック旅行	日帰りバスツアー	その他
合計	114	93	8	5	5	3
	100.0	81.6	7.0	4.4	4.4	2.6
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	17	16	-	-	1	-
	100.0	94.1	-	-	5.9	-
長崎県	28	20	3	1	2	2
	100.0	71.4	10.7	3.6	7.1	7.1
熊本県	37	35	1	-	-	1
	100.0	94.6	2.7	-	-	2.7
大分県	11	11	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
宮崎県	8	6	-	-	2	-
	100.0	75.0	-	-	25.0	-
鹿児島県	13	5	4	4	-	-
	100.0	38.5	30.8	30.8	-	-

(3) 九州・沖縄圏外

「中部地方」が最も多い27.8%、次いで「近畿地方」が22.1%  
都道府県別では、「東京都」と「大阪府」がそれぞれ10.8%

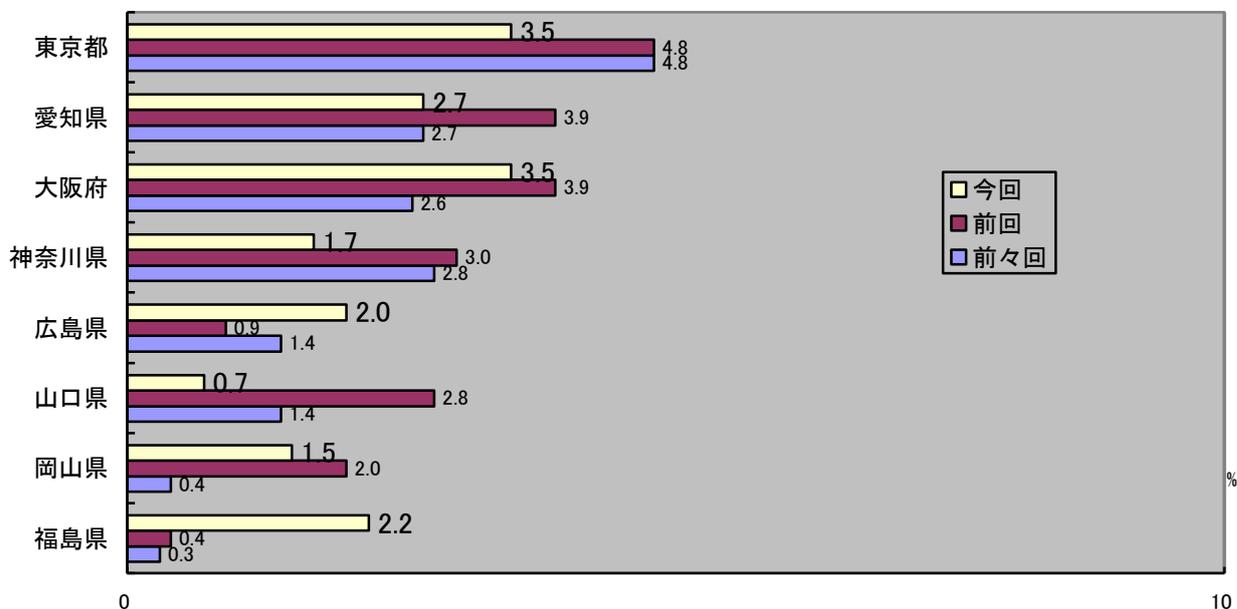
地域区分では「中部地方」、「近畿地方」、「関東地方」、「中国地方」の順に多い。前回と比べて「中部地方」が大きく伸び、都道府県別では、「福島県」、「三重県」、「広島県」が増加した。

地域区分	都道府県	九州圏外比 (n=194)	全国比 (n=601)	前回		前々回	
				九州圏外比 (n=176)	全体比 (n=537)	九州圏外比 (n=392)	全体比 (n=1,429)
北海道	北海道	0.5	0.2	1.7	0.6	0.8	0.2
小計				1.7	0.6	0.8	0.2
東北地方	青森県	0.5	0.2	0.6	0.2	0.3	0.1
	岩手県	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	宮城県	0.0	0.0	0.6	0.2	1.0	0.3
	秋田県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
	山形県	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.4
	福島県	6.7	2.2	1.1	0.4	1.0	0.3
小計		8.2	2.7	2.3	0.8	3.9	1.2
関東地方	茨城県	0.5	0.2	1.7	0.6	0.8	0.2
	栃木県	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.8
	群馬県	0.5	0.2	0.0	0.0	1.8	0.5
	埼玉県	3.1	1.0	5.1	1.7	3.3	0.9
	千葉県	0.5	0.2	2.9	0.9	5.4	1.5
	東京都	10.8	3.5	14.9	4.8	17.3	4.8
	神奈川県	5.2	1.7	9.1	3.0	10.2	2.8
	小計		18.6	6.8	33.7	11.0	41.6
中部地方	新潟県	1.0	0.3	0.0	0.0	0.5	0.1
	富山県	0.0	0.0	0.6	0.2	0.3	0.1
	石川県	1.0	0.3	0.0	0.0	1.0	0.3
	福井県	2.1	0.7	0.0	0.0	0.3	0.1
	山梨県	0.5	0.2	0.0	0.0	2.3	0.6
	長野県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.2
	岐阜県	3.1	1.0	1.1	0.4	0.8	0.2
	静岡県	2.6	0.8	1.1	0.4	3.6	1.0
	愛知県	8.2	2.7	12.0	3.9	9.7	2.7
	三重県	9.3	3.0	1.1	0.4	0.8	0.2
	小計		27.8	9.0	15.9	5.3	20.1
近畿地方	滋賀県	3.1	1.0	2.3	0.7	0.8	0.2
	京都府	1.0	0.3	2.9	0.9	2.3	0.6
	大阪府	10.8	3.5	12.0	3.9	9.4	2.6
	兵庫県	5.2	1.7	5.7	1.9	5.1	1.4
	奈良県	0.5	0.2	2.9	0.9	1.0	0.3
	和歌山県	1.5	0.5	0.0	0.0	0.3	0.1
小計		22.1	7.2	25.8	8.3	18.9	5.2
中国地方	鳥取県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	島根県	3.1	1.0	0.6	0.2	1.3	0.4
	岡山県	4.6	1.5	6.3	2.0	1.5	0.4
	広島県	6.2	2.0	2.9	0.9	5.1	1.4
	山口県	2.1	0.7	8.6	2.8	5.1	1.4
小計		16.0	5.2	18.4	5.9	13.0	3.6
四国地方	徳島県	0.5	0.2	0.0	0.0	0.5	0.1
	香川県	0.5	0.2	0.0	0.0	0.5	0.1
	愛媛県	1.0	0.3	2.3	0.7	0.8	0.2
	高知県	0.5	0.2	0.0	0.0	0.3	0.1
小計		2.5	0.9	2.3	0.7	2.0	0.6

注：外国人10名（韓国人観光客1名、タイ人観光客1名）

「九州外」が前回 32.6%と同じ割合となった。なかでも「広島県」(1.4%→0.9%→2.0%)、「福島県」(0.3%→0.4%→2.2%)が伸びた。また、前回の調査では九州を除く40都道府県から訪問客の居住地は24都道府県であったが、今回の調査では32都道府県に広がり、中でも中部地方は5県が8県、四国地方は1県(愛媛県)が4県からの訪問となった。

居住地(観光客が全体の2%以上)



#### (4) 居住地別旅行形態

旅行形態を居住地別にみると、個人手配旅行は全体的に高い割合であるが、九州(福岡県を除く)においては、「鹿児島県」で「15人以上の団体旅行」と「パック旅行」の割合が高く、「九州以外の地域」においては「個人手配旅行」(48.2%)と「15人以上の団体旅行」「パック旅行」を足した割合が同じである。

九州各県の旅行形態

上段: 度数 下段: %	旅行形態					
	合計	個人(手配)旅行	15人以上の団体旅行	パック旅行	日帰りバスツアー	その他
合計	114	93	8	5	5	3
	100.0	81.6	7.0	4.4	4.4	2.6
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	17	16	-	-	1	-
	100.0	94.1	-	-	5.9	-
長崎県	28	20	3	1	2	2
	100.0	71.4	10.7	3.6	7.1	7.1
熊本県	37	35	1	-	-	1
	100.0	94.6	2.7	-	-	2.7
大分県	11	11	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
宮崎県	8	6	-	-	2	-
	100.0	75.0	-	-	25.0	-
鹿児島県	13	5	4	4	-	-
	100.0	38.5	30.8	30.8	-	-

居住地別旅行形態

上段：度数 下段：%		旅行形態					
		合計	個人(手配)旅行	15人以上の団体旅行	パック旅行	日帰りバスツアー	その他
お住まい	合計	599 100.0	431 72.0	77 12.9	56 9.3	14 2.3	21 3.5
	福岡市内	147 100.0	130 88.4	8 5.4	3 2.0	2 1.4	4 2.7
	福岡市以外の福岡県	132 100.0	104 78.8	13 9.8	2 1.5	5 3.8	8 6.1
	福岡県以外の九州	115 100.0	94 81.7	7 6.1	5 4.3	5 4.3	4 3.5
	九州以外の地域	195 100.0	94 48.2	49 25.1	45 23.1	2 1.0	5 2.6
	外国	10 100.0	9 90.0	-	1 10.0	-	-

これを地方と都道府県別にみると、「東海地方」、「近畿地方」、「中国地方」が多く、「愛知県」、「岐阜県」、「大阪府」、「鳥取県」「岡山県」、「広島県」からが多くなっている。これらが「九州以外の地域」の高い割合につながっていると考えられる。

地方別旅行形態

上段：度数 下段：%		旅行形態					
		合計	個人(手配)旅行	15人以上の団体旅行	パック旅行	日帰りバスツアー	その他
地方	合計	194 100.0	93 47.9	49 25.3	45 23.2	2 1.0	5 2.6
	北海道	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
	東北	3 100.0	-	3 100.0	-	-	-
	関東	57 100.0	40 70.2	10 17.5	3 5.3	1 1.8	3 5.3
	信越	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	1 33.3
	北陸	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-
	東海	32 100.0	9 28.1	9 28.1	13 40.6	-	1 3.1
	近畿	58 100.0	22 37.9	16 27.6	20 34.5	-	-
	中国	33 100.0	16 48.5	8 24.2	8 24.2	1 3.0	-
	四国	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	-	-
	沖縄	-	-	-	-	-	-

## 九州圏外の県別旅行形態

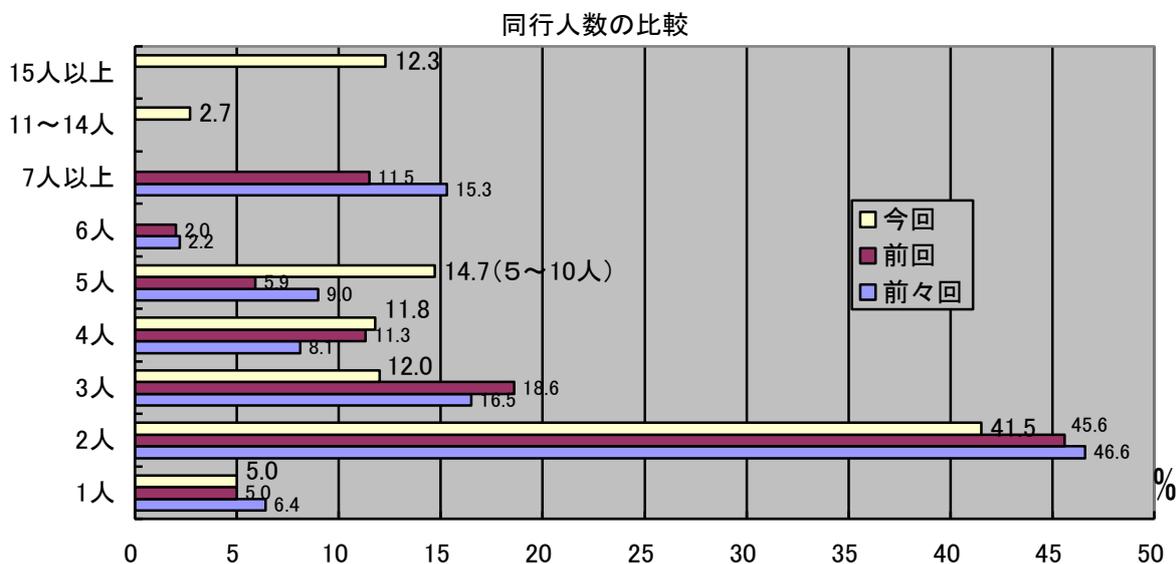
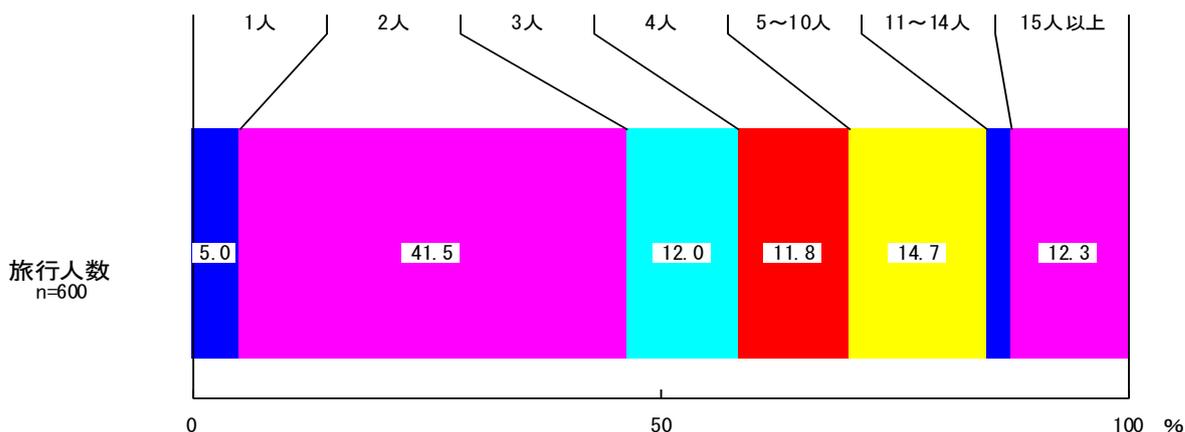
上段: 度数 下段: %	旅行形態					
	合計	個人(手配)旅行	15人以上の団体旅行	バック旅行	日帰りバスツアー	その他
合計	194 100.0	93 47.9	49 25.3	45 23.2	2 1.0	5 2.6
北海道	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
青森県	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
岩手県	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	13 100.0	8 61.5	3 23.1	1 7.7	-	1 7.7
東京都	21 100.0	17 81.0	1 4.8	2 9.5	-	1 4.8
神奈川県	10 100.0	8 80.0	1 10.0	-	1 10.0	-
埼玉県	6 100.0	5 83.3	1 16.7	-	-	-
千葉県	5 100.0	1 20.0	3 60.0	-	-	1 20.0
茨城県	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
山梨県	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0
新潟県	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-
福井県	4 100.0	-	2 50.0	2 50.0	-	-
愛知県	16 100.0	6 37.5	2 12.5	8 50.0	-	-
岐阜県	6 100.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	-	-
静岡県	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0
三重県	18 100.0	7 38.9	4 22.2	7 38.9	-	-
大阪府	21 100.0	7 33.3	6 28.6	8 38.1	-	-
兵庫県	10 100.0	2 20.0	4 40.0	4 40.0	-	-
京都府	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-
滋賀県	6 100.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	-	-
奈良県	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
和歌山県	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	6 100.0	-	2 33.3	4 66.7	-	-
岡山県	9 100.0	2 22.2	2 22.2	4 44.4	1 11.1	-
広島県	12 100.0	8 66.7	4 33.3	-	-	-
山口県	4 100.0	4 100.0	-	-	-	-
徳島県	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
香川県	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
愛媛県	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-
高知県	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

九州以外の地域

### 3. 同行人数

✦ 「2人」が最も多い41.5%、次いで「15人以上」が12.3%  
✦ 「1~4人」が70.3%

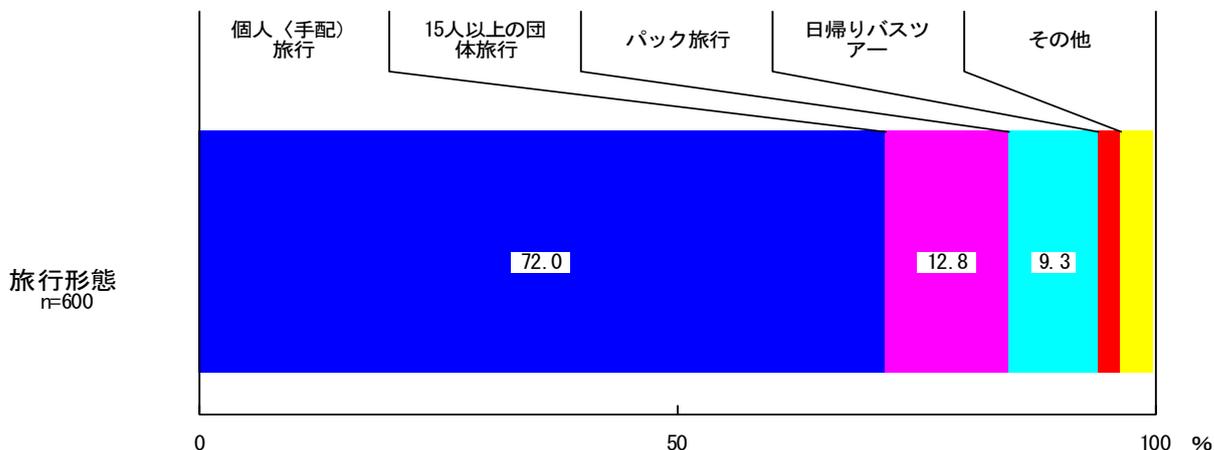
「2~3人」が多く、合わせて53.5%（前回64.2%）を占めている。前回と比べると、「4人」が若干増えている。今回の調査では、前回の「5人」、「6人」、「7人以上」の区分を「5~10人」、「11~14人」、「15人以上」に変えて調査したが、「15人以上」が12.3%と高い割合を占めている。5人以上の割合は29.7%と前々回26.5%、前回19.4%を上回っている。



#### 4. 旅行形態

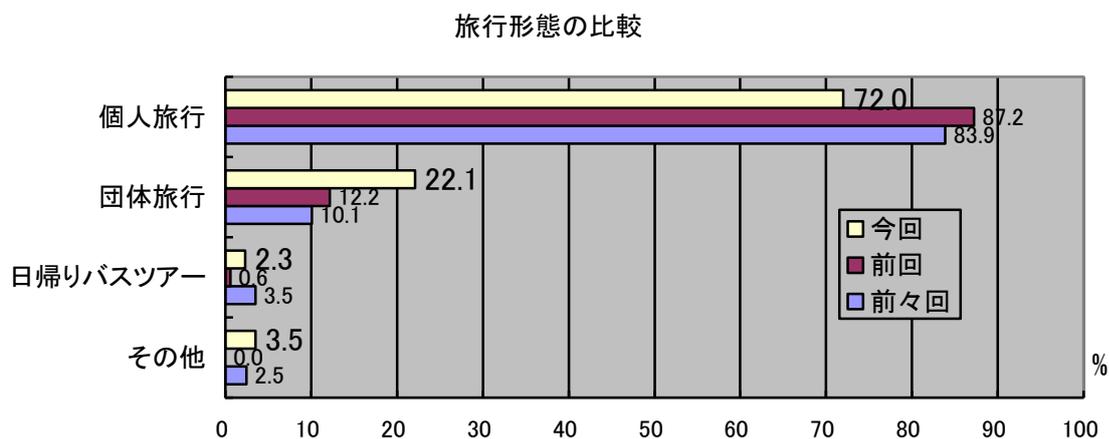
■ 「個人手配旅行」（旅行会社を利用しない）が 72.0%  
■ 「15人以上の団体旅行」が 12.8%、「パック旅行」が 9.3%

「個人手配旅行」が 72.0%、団体旅行が 22.1%（前回 12.2%）（うちパック旅行を利用した割合は 9.3%（前回 5.9%）、「日帰りバスツアー」が 2.3%である。



\*前回の調査では旅行会社を利用有無から「個人旅行」と「団体旅行」、「日帰りバスツアー」に分けて行ったが、今回は、旅行会社利用の項目を「15人以上の団体旅行」、「パック旅行」に分けたため、「15人以上の団体旅行」、「パック旅行」が前回の団体旅行に該当する。

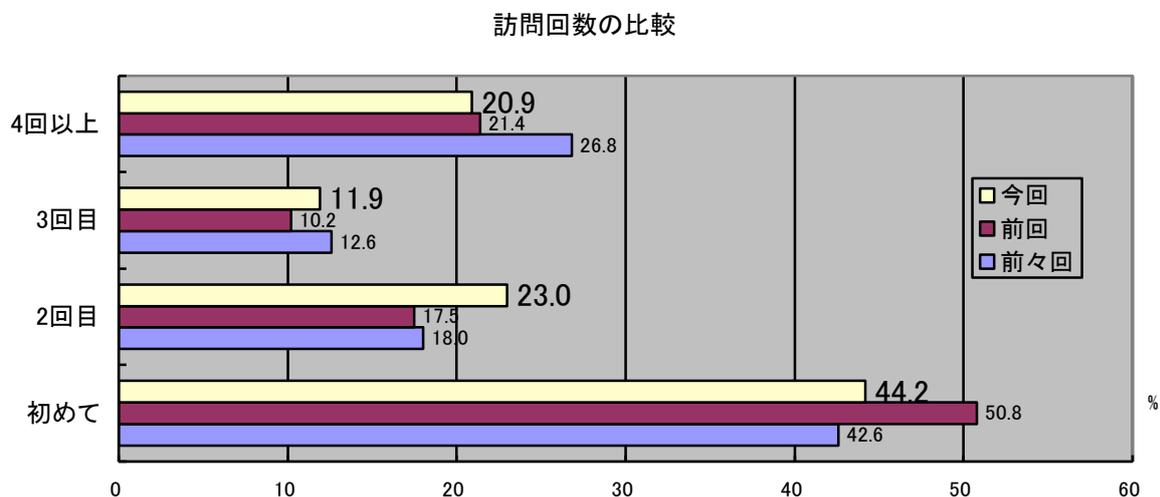
前回と比較してみると、「団体旅行」が大きく伸び、「団体旅行」のうち約半数が「パッケージ」旅行である。



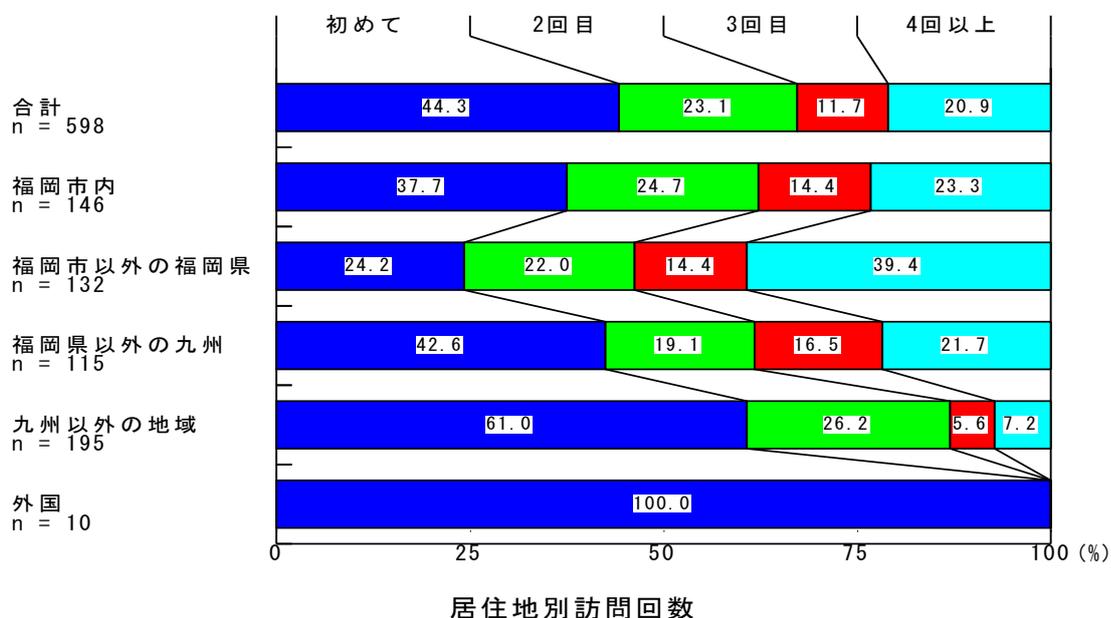
## 5. 訪問回数

「リピーター」が55.8%

「初めて」が44.2%、「リピーター」が55.8%である。「リピーター」の中には「2回目」(23.0%)が最も多く、「4回以上」が20.9%である。



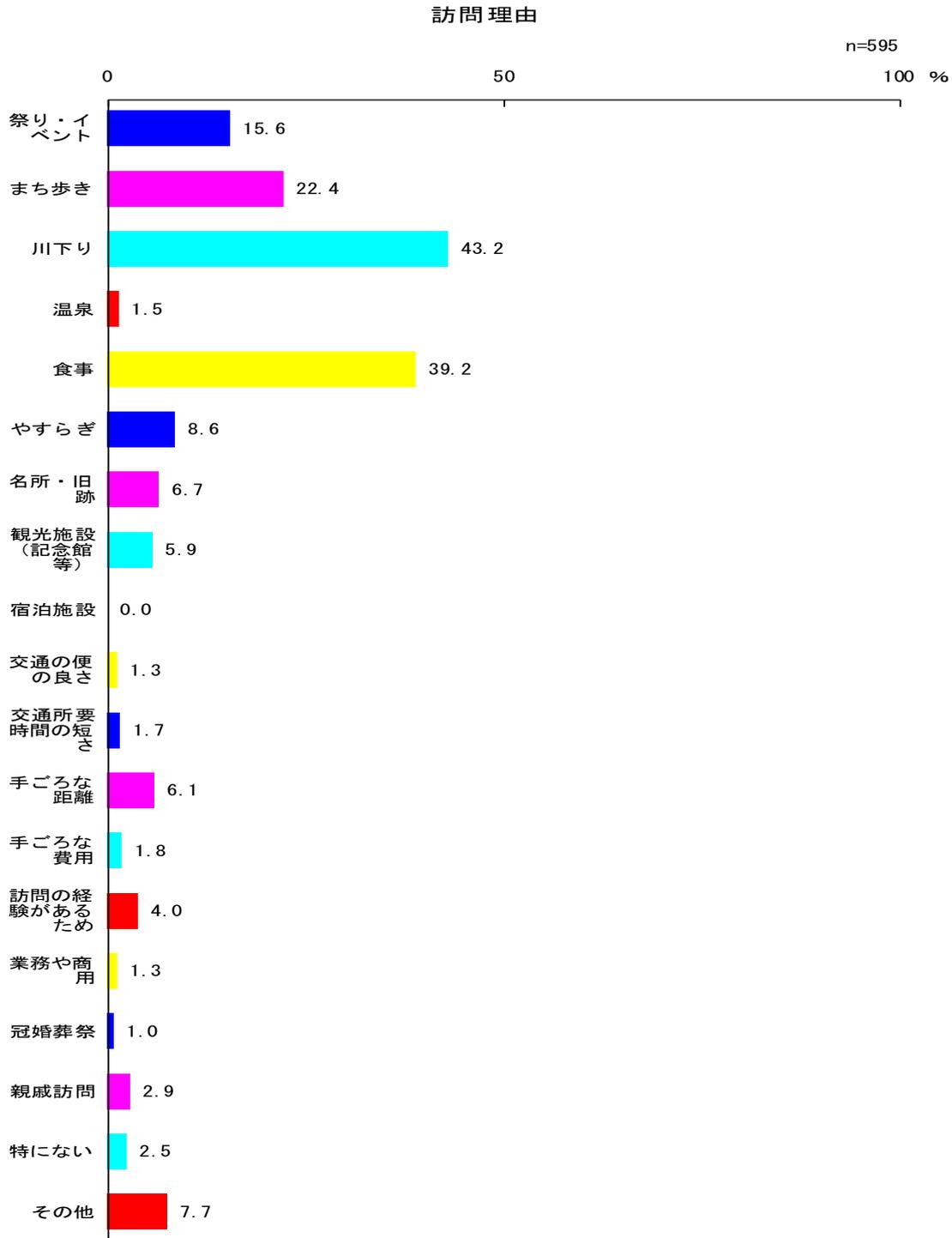
「初めて」の割合は「外国人」が100%、「九州以外の地域」が61.0%と高く、「福岡市外の福岡県」からのリピーター率が75.8%と最も高い。



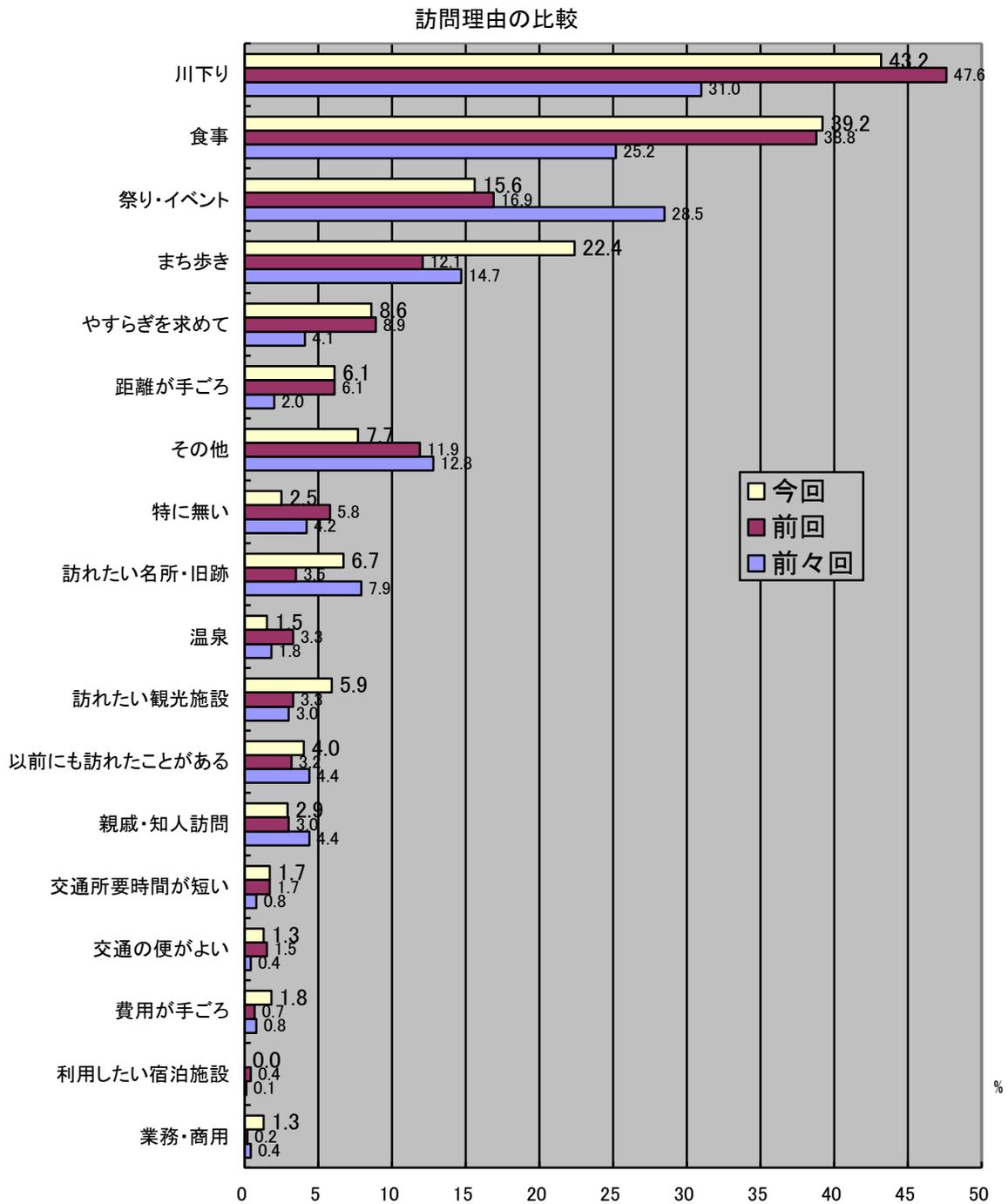
## 6. 訪問理由

訪問理由は「川下り」(43.2%)、「食事」(39.2%)、「まち歩き」(22.4%)、「祭り・イベント」(15.6%)、

「川下り」と「食事」がそれぞれ43.2%、39.2%と最も高い。他に「まち歩き」が22.4%、「祭り・イベント」が15.6%、「やすらぎを求めて」が8.6%である。



前回と比べると、「川下り」、「食事」の割合が依然として高いが、「まち歩き」が大きく伸び、これと関連して「訪れたい観光施設があるから」も伸びている。新しい観光スタイルが定着しつつある。



## 7. 観光消費額

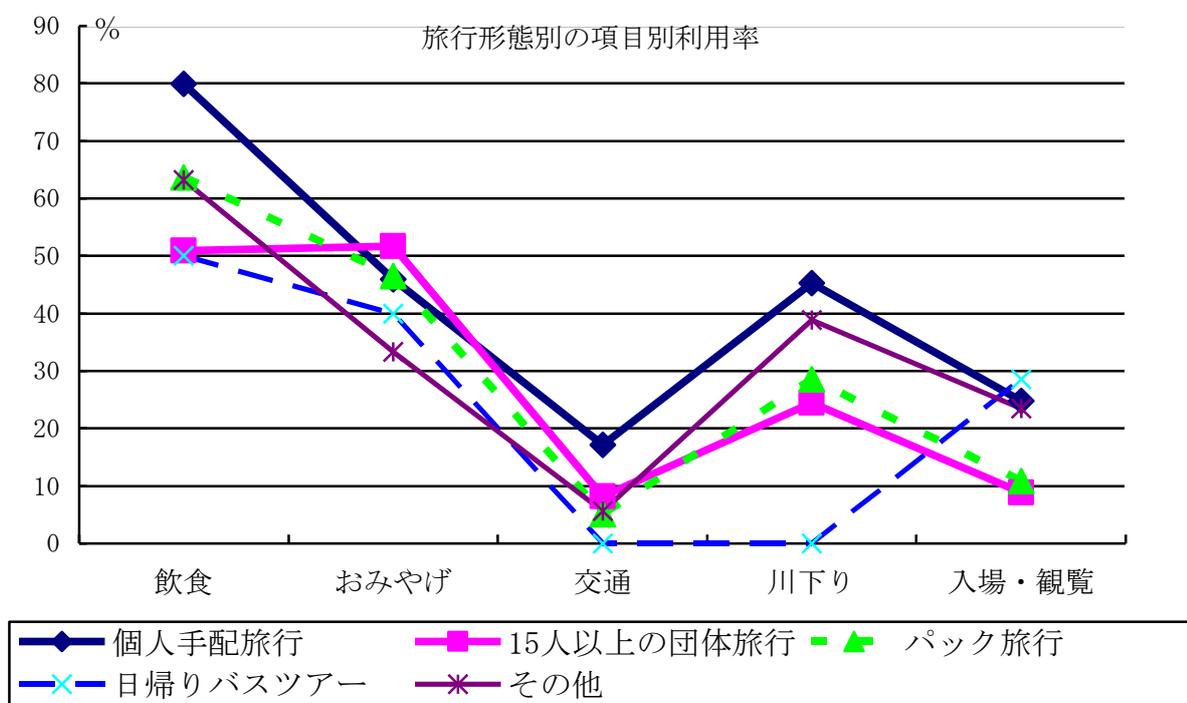
◆ 1人当たりの観光消費額は  
 「宿泊費」13,385円、「飲食費」3,269円  
 「おみやげ費」3,606円、「交通費」1,665円  
 「川下り」1,420円、「入場・観覧・利用料等」709円

1人当たりの観光消費額を項目別で見ると、前回と比べて「宿泊費」が1,389円、「飲食費」が655円、「おみやげ費」が423円、「交通費」が384円、「入場・観覧・利用料金」が115円増え、「川下り費」が5円減っている。利用率は、おみやげの購入以外は全体的に減少している。

	今回		前回		前々回	
	利用率	平均消費額(円)	利用率	平均消費額(円)	利用率	平均消費額(円)
宿泊費	6.9	13,385	4.8	11,996	4.6	11,540
飲食費	74.2	3,269	76.8	2,614	68.5	2,650
おみやげ費	46.0	3,606	35.6	3,183	36.9	2,650
交通費	14.5	1,665	22.8	1,281	18.1	1,340
川下り費	41.2	1,420	51.4	1,425	32.5	1,410
入場・観覧・利用料等	22.0	709	21.5	594	19.6	610

注：利用率は、アンケート票に消費額を記入した観光客数の割合。

旅行形態別に消費状況を見ると、「個人手配旅行」が他の旅行形態と比べて利用率が高い。「15人以上の団体旅行」と「パック旅行」は、飲食を除いてほぼ同じ傾向が見られる。また、おみやげの購入は「15人以上の団体旅行」が最も高く、「個人手配旅行」と「パック旅行」が同じ割合である。今回の調査で利用率が前回は下回った理由は、「パック旅行」、「15人以上の団体旅行」が増えたことが一因と考えられる。



## 8. 満足度

- ✦ “やや満足” “満足” の割合は
- 「旅行全体」 74.5%
- 「食事」 79.2%
- 「観光施設、街の人たちのおもてなし」 67.4%
- 「観光施設やその内容」 61.3%
- 「当地での情報収集」 49.5%
- 「みやげ品」 49.1%
- 「当地までの案内看板などの整備状況」 48.9%
- 「旅行中の移動」 44.3%

“満足” または “やや満足” と答えた割合は、「旅行全体」が 74.5% で他の項目と比べて高い。項目別では「食事」が一番高い 79.2%、次いで「観光施設、街の人たちのおもてなし」が 67.4% である。50% に満たない項目は、「みやげ品」 49.1%、「当地までの案内看板などの整備状況」 48.9%、「旅行中の移動」 44.3%、「当地での情報収集」 49.5% である。

### (1) 前回と比べて大きく改善

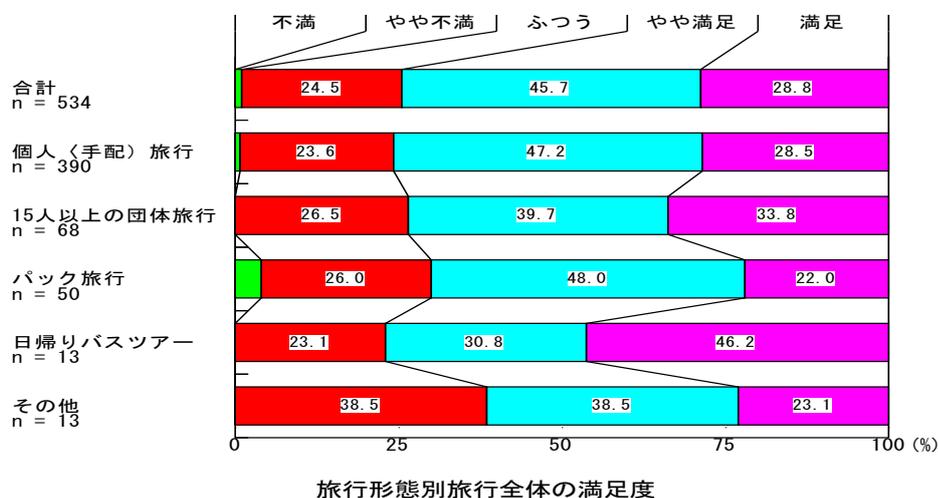
前回及び前々回との比較では、全ての項目において満足度（「やや満足」＋「満足」）の割合が高くなった。特に「食事」と「観光施設やその内容」が前々回、「みやげ品」が前回と比べて大きく改善されている。

満足度（「やや満足」＋「満足」）の比較

	今回	前回	前々回	今回と前回の差	今回と前々回の差
食事	79.2	67.8	59.2	11.4	20.0
みやげ品	49.1	25.8	37.2	23.3	11.9
観光施設やその内容	61.3	51.6	42.6	9.7	18.7
当地までの案内看板などの整備状況	48.9	34.2	36.4	14.7	12.5
旅行中の移動	44.3	35.7	37.3	8.6	7.0
観光施設、街の人たちのおもてなし	67.4	58.8	54.2	8.6	13.2
当地での情報収集	49.5	34.7	35.0	14.8	14.5
旅行全体	74.5	67.5	62.1	7.0	12.4

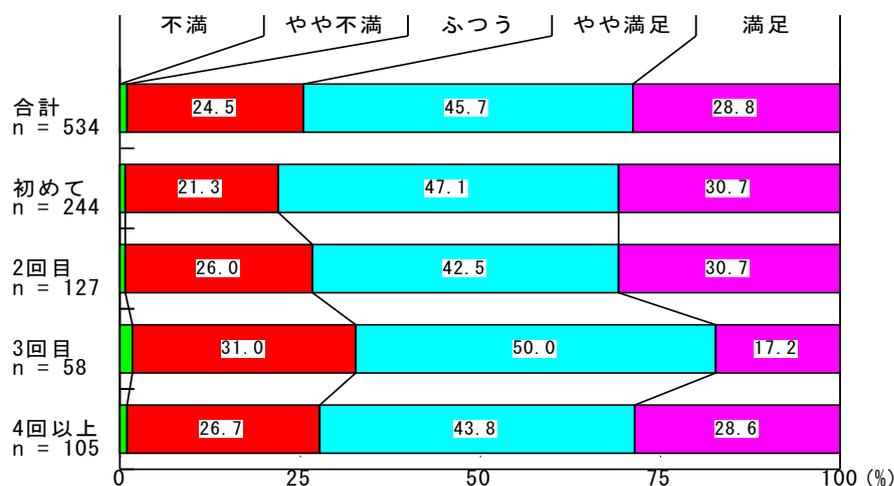
### (2) 旅行形態別の満足度

旅行全体の評価は旅行形態別に大きな違いはないが、“満足” または “やや満足” と答えた割合が高い順は「日帰りバスツアー」（77.0%）、「個人手配旅行」（75.7%）、「15人以上の団体旅行」（73.5%）、「パッケージ旅行」（70.0%）となっている。「15人以上の団体旅行」と「パッケージ旅行」が他と比べて低くなっている理由は、行程に“柳川観光が含まれているから何となくついてきた”のような積極的でない旅行が不満につながっていると考えられる。



### (3) 訪問回数別の満足度

“満足”または“やや満足”と答えた割合は、「4回目以上」は72.4%であるが、「初めて」(77.8%)から「2回目」(73.2%)、「3回目」(67.2%)となるにつれて低下している。「やや不満」の最も大きい理由は“駐車場がわかりにくい”、“掘割の水が汚れている”、“道が狭く、人と車との距離が近い”である。

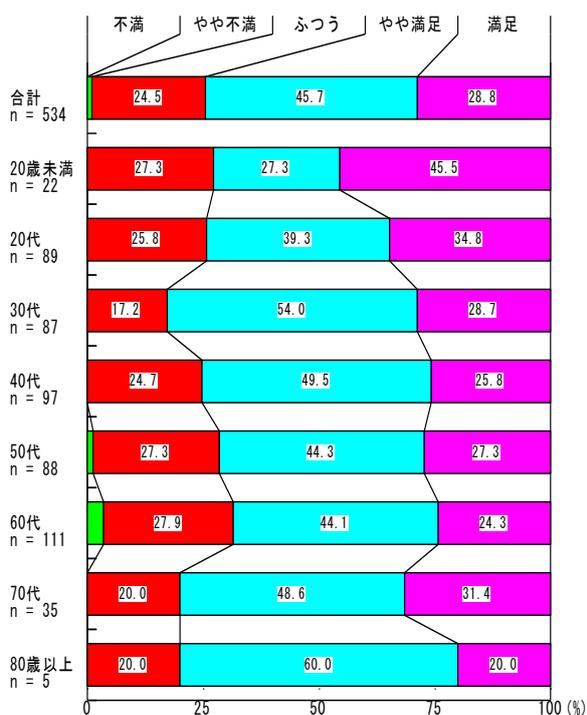


訪問回数別旅行全体の満足度

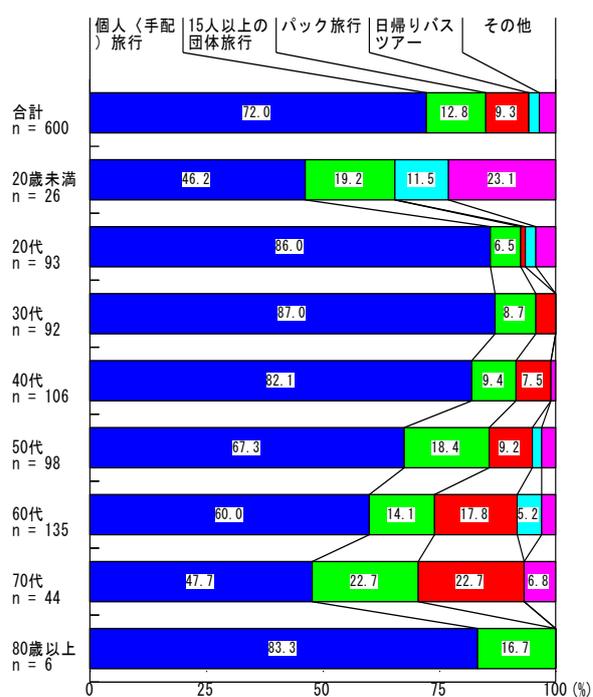
### (4) 年齢別満足度

“満足”と“やや満足”の割合が高い順は、「40代」85.3%、「30代」82.7%、「70代」80.0%、「80歳以上」(80.0%)、「20代」74.1%、「20歳未満」72.8%、「50代」71.6%、「60代」68.4%である。今回の調査で「60代」の年齢別で最も多いが、満足度においては一番低い結果となっている。

「30代」から年齢が上がるにつれて「15人以上の団体旅行」と「パッケージ旅行」の割合が高くなっている。「80歳以上」は例外であるが、旅行形態と満足度は関連性が見られる。



年齢別旅行全体の満足度



年齢別旅行形態

(5) 訪問目的別満足度

サンプル数が30以上の観光対象の中で、「満足」と「やや満足」の割合が高い順は、「やすらぎ」87.8%、「観光施設(記念館等)」84.9%、「川下り」78.4%、「名所・旧跡」78.3%、「まち歩き」75.0%、「祭り・イベント」71.1%である。

“やや不満”の内容は、「川下り」では水質、「やすらぎ」では車の混雑、車と人との距離の近さ、「名所・旧跡」では案内看板がわかりにくい等である(表1)。表2は表頭を100%にしたものであるが、「やや不満」、「不満」の多くが「川下り」、「食事」にあることがわかる。

表1

訪問目的別旅行全体の満足度

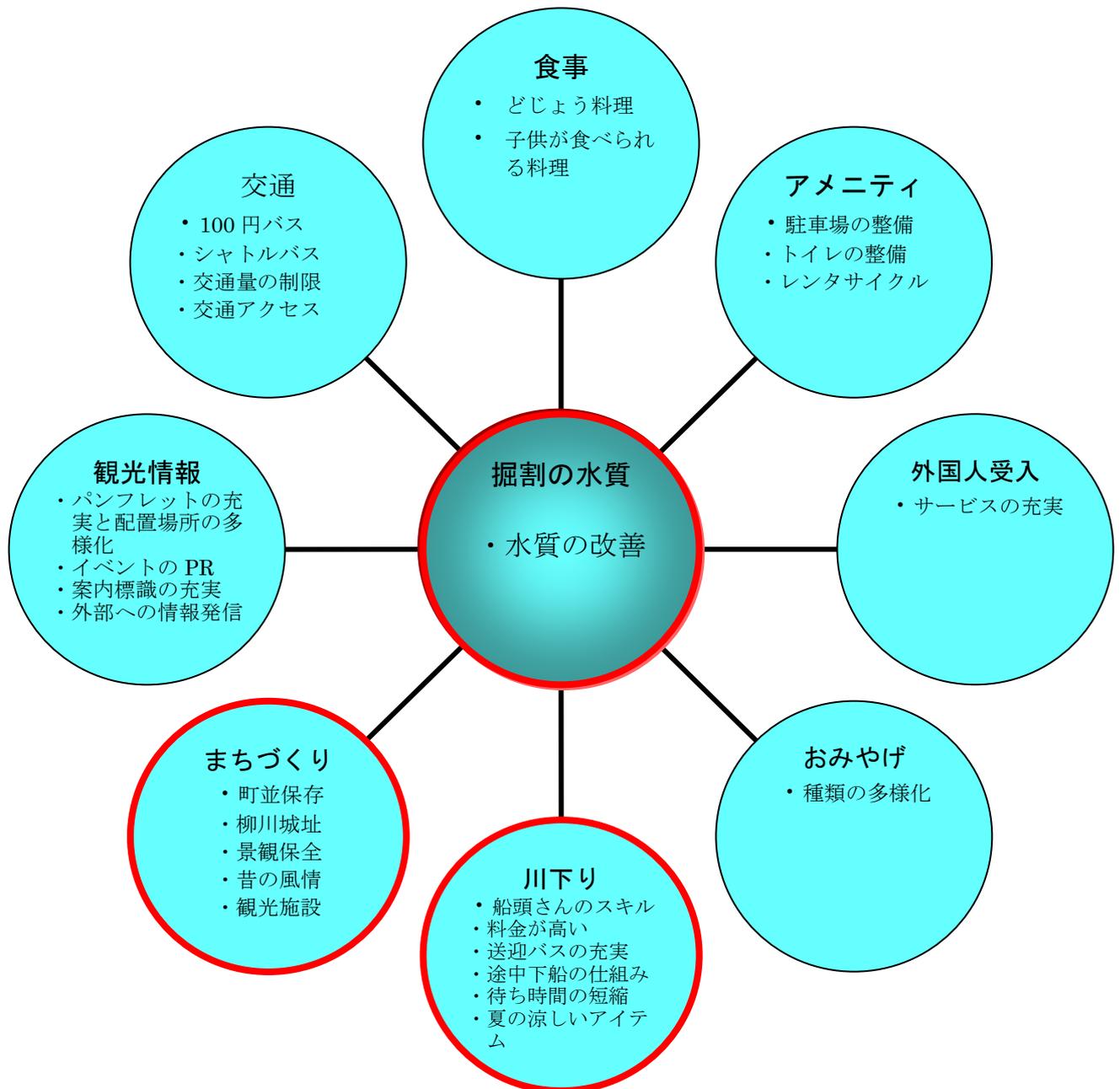
上段: 度数 下段: %	満足度(柳川旅行全体)					
	合計	不満	やや不満	ふつう	やや満足	満足
合計	531	-	5	131	242	153
	100.0	-	0.9	24.7	45.6	28.8
祭り・イベント	83	-	-	24	37	22
	100.0	-	-	28.9	44.6	26.5
まち歩き	128	-	-	32	59	37
	100.0	-	-	25.0	46.1	28.9
川下り	236	-	3	48	100	85
	100.0	-	1.3	20.3	42.4	36.0
温泉	9	-	1	2	4	2
	100.0	-	11.1	22.2	44.4	22.2
食事	209	-	1	41	114	53
	100.0	-	0.5	19.6	54.5	25.4
やすらぎ	49	-	1	5	24	19
	100.0	-	2.0	10.2	49.0	38.8
名所・旧跡	37	-	1	7	15	14
	100.0	-	2.7	18.9	40.5	37.8
観光施設(記念館等)	33	-	-	5	16	12
	100.0	-	-	15.2	48.5	36.4
宿泊施設	-	-	-	-	-	-
訪問理由						
交通の便の良さ	8	-	-	-	6	2
	100.0	-	-	-	75.0	25.0
交通所要時間の短さ	8	-	-	2	4	2
	100.0	-	-	25.0	50.0	25.0
手ごろな距離	33	-	-	11	14	8
	100.0	-	-	33.3	42.4	24.2
手ごろな費用	9	-	-	1	6	2
	100.0	-	-	11.1	66.7	22.2
訪問の経験があるため	22	-	-	7	12	3
	100.0	-	-	31.8	54.5	13.6
業務や商用	6	-	-	1	2	3
	100.0	-	-	16.7	33.3	50.0
冠婚葬祭	5	-	-	-	5	-
	100.0	-	-	-	100.0	-
親戚訪問	15	-	6	5	5	4
	100.0	-	40.0	33.3	33.3	26.7
特にない	12	-	-	5	4	3
	100.0	-	-	41.7	33.3	25.0
その他	38	-	1	11	12	14
	100.0	-	2.6	28.9	31.6	36.8

表2

訪問目的別旅行全体の満足度

上段: 度数 下段: %	満足度(柳川旅行全体)					
	合計	不満	やや不満	ふつう	やや満足	満足
合計	531	-	5	131	242	153
	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0
祭り・イベント	83	-	-	24	37	22
	15.6	-	-	18.3	15.3	14.4
まち歩き	128	-	-	32	59	37
	24.1	-	-	24.4	24.4	24.2
川下り	236	-	3	48	100	85
	44.4	-	60.0	36.6	41.3	55.6
温泉	9	-	1	2	4	2
	1.7	-	20.0	1.5	1.7	1.3
食事	209	-	1	41	114	53
	39.4	-	20.0	31.3	47.1	34.6
やすらぎ	49	-	1	5	24	19
	9.2	-	20.0	3.8	9.9	12.4
名所・旧跡	37	-	1	7	15	14
	7.0	-	20.0	5.3	6.2	9.2
観光施設(記念館等)	33	-	-	5	16	12
	6.2	-	-	3.8	6.6	7.8
宿泊施設	-	-	-	-	-	-
訪問理由						
交通の便の良さ	8	-	-	-	6	2
	1.5	-	-	-	2.5	1.3
交通所要時間の短さ	8	-	-	2	4	2
	1.5	-	-	1.5	1.7	1.3
手ごろな距離	33	-	-	11	14	8
	6.2	-	-	8.4	5.8	5.2
手ごろな費用	9	-	-	1	6	2
	1.7	-	-	0.8	2.5	1.3
訪問の経験があるため	22	-	-	7	12	3
	4.1	-	-	5.3	5.0	2.0
業務や商用	6	-	-	1	2	3
	1.1	-	-	0.8	0.8	2.0
冠婚葬祭	5	-	-	-	5	-
	0.9	-	-	-	2.1	-
親戚訪問	15	-	-	6	5	4
	2.8	-	-	4.6	2.1	2.6
特にない	12	-	-	5	4	3
	2.3	-	-	3.8	1.7	2.0
その他	38	-	1	11	12	14
	7.2	-	20.0	8.4	5.0	9.2

9. 改善・要望事項（自由記述）



\*赤色のところは柳川旅行全体の評価に特に影響が大きい要素である。（27頁参照）

[参考資料]

前回の調査結果から旅行全体への影響度を統計学的にみると、旅行全体に及ぼす影響は、「観光施設とその内容」が最も大きく、次に「観光施設、街の人たちのおもてなし」、「食事」、「当地での情報収集」の順となっている。

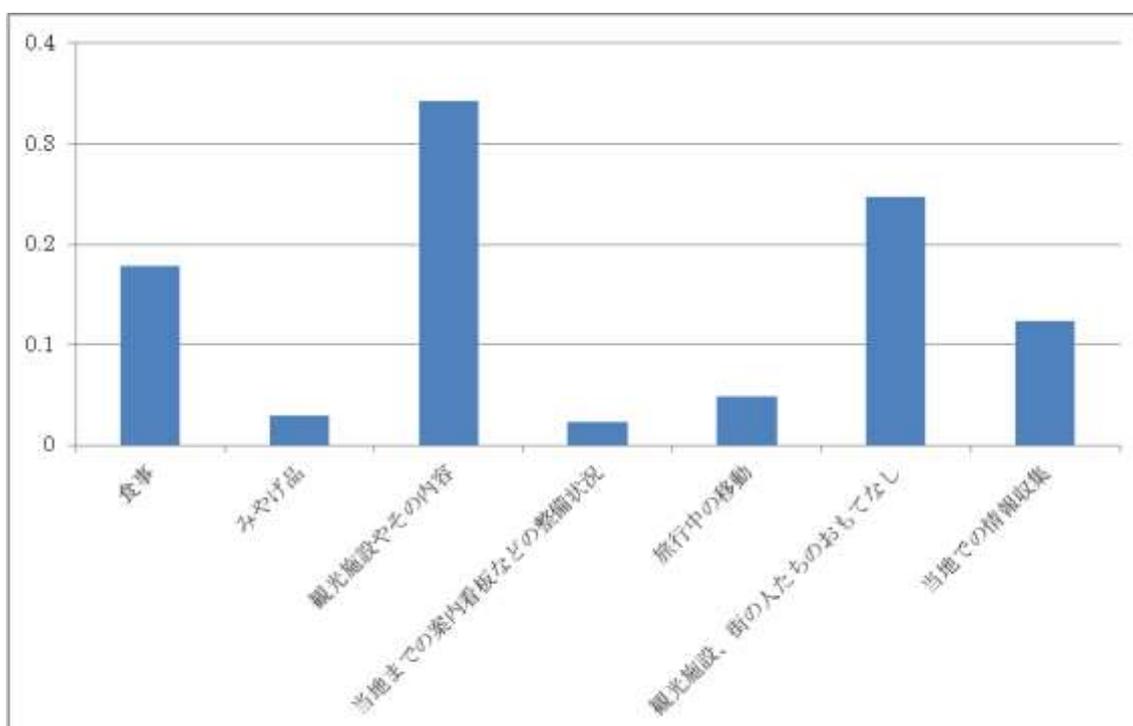
係数<sup>a</sup>

モデル	非標準化係数		標準化係数	t	有意確率
	B	標準誤差	ベータ		
1 (定数)	-2.589E-15	.033		.000	1.000
Z 得点(食事)	.179	.036	.179	5.033	.000
Z 得点(みやげ品)	2.970E-02	.038	.030	.777	.438
Z 得点(観光施設)	.343	.040	.343	8.542	.000
Z 得点(案内看板)	2.264E-02	.043	.023	.533	.595
Z 得点(移動環境)	4.895E-02	.042	.049	1.156	.248
Z 得点(おもてなし)	.247	.038	.247	6.472	.000
Z 得点(観光情報)	.124	.042	.124	2.916	.004

a. 従属変数: Z 得点(旅行全体)

表 旅行全体への影響

説明変量	標準偏回帰係数
食事	0.179
みやげ品	0.030
観光施設やその内容	0.343
当地までの案内看板などの整備状況	0.023
旅行中の移動	0.049
観光施設、街の人たちのおもてなし	0.247
当地での情報収集	0.124



## アンケートご協力をお願い

この調査は、皆様の率直なご意見をいただき、観光客の受け入れ環境や観光地として求められていることなどを調べ、観光諸政策の基礎資料とするために行うものです。

調査員氏名： \_\_\_\_\_ 調査地点： 沖端

平成 26 年 7 月 20 日  
柳川市観光課

**問 1 あなたの住まいはどちらですか。(○は1つだけ)**

- ①福岡市内 ②福岡市以外の福岡県( \_\_\_\_\_ 市町村) ③福岡県以外の九州( \_\_\_\_\_ 県)  
④九州以外の地域 都道府県名:( \_\_\_\_\_ ) ⑤外国( \_\_\_\_\_ )

**問 2 今回の旅行は何人で来られましたか。(○は1つだけ)**

- ①1人 ②2人 ③3人 ④4人 ⑤5~10人 ⑥11~14人 ⑦15人以上( \_\_\_\_\_ 人)

**問 3 今回の旅行形態は次のどれですか。(○は1つだけ)**

- ①個人(手配)旅行 ②15人以上の団体旅行 ③パック旅行 ④日帰りバスツアー ⑤その他( \_\_\_\_\_ )

**問 4 柳川へ来るのは何回目ですか(○は1つだけ)**

- ①初めて ②2回目 ③3回目 ④4回以上

**問 5 今回、当地を訪れた理由(動機)／期待は何ですか(○は主なものを3つまで)**

- ①祭り・イベントがあるため ②「まち歩き」のため ③「川下り」のため ④温泉に入るため  
⑤食事をするため ⑥やすらぎを求めて ⑦訪れたい名所・旧跡があるから  
⑧訪れたい観光施設(記念館等)があるから ⑨利用したい宿泊施設があるから  
⑩交通の便がよいから ⑪交通所要時間が短いから ⑫距離が手ごろであるため  
⑬費用が手ごろであるため ⑭以前にも訪れたことがあるため ⑮業務や商用のため  
⑯冠婚葬祭 ⑰親戚訪問 ⑱特に理由(動機)はない ⑲その他( \_\_\_\_\_ )

**問 6 今回、あなたが柳川市内で使う(使った)費用(ご家族、グループの場合は一人当たり)は、予定も含めてどの位ですか。(宿泊しない、わからない等の場合はそれぞれに○をつけてください)**

宿泊費	およそ _____ 円	しない	わからない
飲食費	およそ _____ 円 (具体的に _____ )	しない	わからない
おみやげ費	およそ _____ 円 (具体的に _____ )	買わない	わからない
市内交通費	およそ _____ 円	利用しない	わからない
川下り	_____ 円	利用しない	わからない
入場・観覧・利用料等	およそ _____ 円	しない	わからない

**問 7 今回の柳川観光の満足度についてお伺いします。(項目ごとに○をお付けください)**

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
食事	5	4	3	2	1
みやげ品	5	4	3	2	1
観光施設やその内容	5	4	3	2	1
当地までの案内看板等の整備状況	5	4	3	2	1
旅行中の移動	5	4	3	2	1
観光施設、街の人たちのおもてなし	5	4	3	2	1
当地での情報収集	5	4	3	2	1
柳川旅行全体	5	4	3	2	1

**問 8 柳川観光について改善してほしいことは何ですか。**

**問 9 あなたの年齢をお答えください。**

1. 20歳未満 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代  
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

男	女
柳川での滞在予定時間	
時間	分

ご協力ありがとうございました。

# 柳川市観光客動態調査報告書

平成 26 年 8 月

発行 柳川市建設部観光課